

科目名	経営分析論	科目コード	1470	単位数	3
担当者名	橋元 理恵	開講semester	第5semester	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

経営分析は、企業の経営活動の成果について分析するものです。経営分析は、会計や金融を専門とする職業に就く人のみに必要な知識ではなく、就職活動する会社を調べたり、株式を買うときに会社の財政状況を把握するのに役立つ知識です。

この授業では、経営分析 で学んだ財務諸表の基本的な分析に基づいた定量分析とともに、戦略やビジネスシステム等の定性分析を含めた総合的な経営分析について学び、経営分析ができる知識を身につけます。

● 到達目標

- ・ 定量、定性の両面で経営分析する知識を習得することを目標とする。
- ・ 自ら経営分析する企業を選択し、その企業について経営分析を行いプレゼンテーションできるようになる。

● 授業内容

- 1週目 イン트로ダクション
 - 2週目 定量的分析(1):決算短信と有価証券報告書
 - 3週目 定量的分析(2) : 決算短信の読み方演習
 - 4週目 定量的分析(3) : 有価証券報告書の読み方演習
 - 5週目 EVA、KPI
 - 6週目 定量的分析の理解度確認テスト: 決算短信、有価証券報告書の分析プレゼンテーション と質疑応答
 - 7週目 定量的分析の理解度確認テスト: 決算短信、有価証券報告書の分析プレゼンテーション と質疑応答
 - 8週目 定性的な分析(1) : 定性的分析とは
 - 9週目 定性的な分析(2) : 業界の分析、戦略の分析
 - 10週目 定性的な分析(3) : ビジネスシステムの分析
 - 11週目 定性的な分析(4) : ビジネスシステムのケース
 - 12週目 定性的な分析(5) : マーケティング戦略
 - 13週目 総合的分析
 - 14週目 総合的分析のプレゼンテーション(1) と質疑応答
 - 15週目 総合的分析のプレゼンテーション(2) と質疑応答
 - 16週目 まとめと討議。
- 但し、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・ 授業は配布するレジュメに基づき進めます。
- ・ 経営分析論 で学習した内容について各回30分程度の予習をしてください。
- ・ 授業後は授業の理解を深めるためノートをとめる等90分程度の復習を行ってください。
- ・ 提示した課題には必ず取り組むこと。
- ・ レポート課題については、Course Powerを通じて行います。
- ・ 総合的分析の発表では、Course Powerを通じて発表資料を提出し授業までに提出者の資料を読んでおいてください。

● 成績評価の方法・基準

- ・ 授業への参加（出席ではなく、授業での発言、発表など積極的に参加しているか）（20%）、理解度確認テスト・レポート（40%）、期末テスト（40%）で総合的に評価します。

● 履修上の留意点

- ・ 毎回新しいトピックスを学びます。遅刻をすると授業内容の理解が難しくなりますので、遅刻はしないでください。
- ・ 電卓が必要な回があります。その時は連絡しますので電卓を持参してください。
- ・ 理解度確認テストでは、決算書、財務諸表から定量的分析のプレゼンテーションを行います。
- ・ 6週、7週の理解度確認テストのプレゼンテーションでは、自身がプレゼンテーションするだけでなく、他者のプレゼンテーションについて質問や議論を行います。
- ・ 期末テストは、自ら分析企業を選択し、経営分析のプレゼンテーションを行います。日ごろから企業への興味を持って授業に臨んでください。
- ・ 授業中は質疑応答や議論も行いますので自身の考えや意見を述べ積極的に授業に参加してください。
- ・ 授業中はスマホの利用をしないでください。スマホを机の上に置くことも禁止します。
- ・ 授業中の飲食も禁止します。

新型コロナウイルスの感染状況により対面授業が難しい場合はCourse Power、Zoom等を利用して遠隔授業を行います。パソコンの環境整備をしてください。

● 課題に対するフィードバックの方法

- ・ 理解度確認テストのプレゼンテーションでは、質疑応答、議論を行います。
- ・ プレゼンテーションについては、毎回フィードバックします。

● テキスト

レジュメを配布します。

● 参考書

橋元理恵『先端流通企業の成長プロセス』（白桃書房）3,080円

● 更新日付

